



平成武師道

(人間活動学)

『ワクワク』

先日、某企業の研修に於いて、平成武師道の講義を行った。

1週間、私は毎日3時間講話をした。

内容は、平成武師道十八項目の初め「義」から最後の「克己心」まで、それぞれの意味を考え抜いていく話だ。一番伝えたかった事は、とにかく自分で“考える”。

参加者たちは、みんな大人ばかりで子供はいない。

もうしっかりと各々の思想・哲学は持っているように思う。

しかし、意外と何も考えていない人ばかりなのだ。

というより、普段の生活を当たり前のように時間を過ごしているだけなのだ。

だいたい大半の人はそんなものだ。

そんなに難しく考えて生きていなくても、十分に生活ができる時代だからだろう。

しかし研修をするからには、普段と違った事をしなければならない。

そのためには、とにかくどんなことでも“考える”癖を付けて行動をさせた。

その結果、最終日には何人かは“面白い”事を話すようになった。

実はこれが大事なのだ。

営業であれ、企画であれ、工場で働いていようが、人に興味を持ってもらう事に越したことはないのだから。

“考える”事をしろと言ったのは、この為である。

普通では、面白くないのだ。

皆とは違うものにならないと、人は興味を持ってくれない。

ただ単に「変人になれ」ではなくて、気持ちの良い人間になれと教えたのだ。

社会に出ると、時にはズルをしてしまう事も多々あるだろう。

一度二度は仕方がない時もある。

しかし、それがいつの間にか麻痺してしまい、当たり前になってしまうものだ。

それでは、その場しのぎの仕事しかできない人間になってしまう。

“考える”事をせずに、“ながら”で生きていくには危険である。

人と違う事をする為には、まず自分が変わらなければならない。

自分が変わるとは、自分の心を変える事だ。

それは、自分の心、すなわち“考える”を知る事からだと思う。

そして、“考える”を“ワクワク”にしていくのだ。

人生、誰でも楽しい事よりも苦しい事の連続である。

だからこそ“ワクワク”した気持ち作り、心作りの為には、初めに自分の心で“考える”をしなければならない。

平成武師道十八番項目は、単純な漢字でしか表していない。

しかし、その単純な漢字を自分自身で“考える”事によって新しい何かを見つける“ワクワク”探しになっている。

人生一度限り、“面白い”事、“ワクワク”する事は、まずは自らが考えないと始まらない。



佐々木 賢